

【礼拝賛美】「主はぶどうの木」

(※↓★↓※の順で歌う)

※主はぶどうの木 わたしは枝です
いつも離れずに
主はぶどうの木 わたしは枝です
豊かな実を結ぶ
★みことばにとどまり 愛に生きるなら
この世は知るでしょう
主の救いと いやし

【教勢報告】

■9/28 聖日礼拝

小礼拝 19名 (J2, S0)
聖日礼拝 45名 (J5, S6)
小学科礼拝 4名

■10/2 祈禱会 17名

【報告 消息】

・ミモザ会石岡ツアー
2日間のツアーは守られて、恵みに満ちた視察と交わり、聖日の礼拝であったと報告を戴きました。礼拝後には石岡シオンの兄弟姉妹と愛さんの時を持つなど、教会間の交流を行うことができました。
石岡ゆかりの蒲田メンバーは純子先生と久しぶりにお目にかかりました。初め

て石岡シオンを訪ねた方もありました。それぞれに恵みに満ちた時でした。

・いのちのことば社より

8月24日に行った文書伝道デイについてのご報告とお礼状をいただきました。今年の書籍等の販売は96,791円の売り上げでした。兄弟姉妹がこの企画を用いて書籍等をご購入くださり、とても良い機会になったことを感謝いたします。

【ご案内】

召天者記念礼拝・墓地礼拝

日程 11月2日(日)



天に帰られた先輩方を偲びつつ、天の故郷を見上げ、私たちが持つ希望を新たにする時です。

さて、主にある囚人の私はあなたがたに勧めます。あなたがたは、召されたその召しにふさわしく歩みなさい。謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに耐え忍び、平和の絆で結ばれて、御霊による一致を熱心に保ちなさい。
エペソ人への手紙 4章1, 2節

ある説教者は、エペソ書を3つの言葉を手掛かりにして次のように分析しています。
前半は「座す」(二六)で、私たちがキリストにあってどんな立場・地位を持っているかが記されます。中盤は「歩む」(四一ほか)で、召されたキリスト者がこの世で期待される歩み・生き方が記されます。最後の部分は「立つ」(六四ほか)で、信仰を脅かす敵対勢力にどのような態度で臨むかが記されます。
今日お聞きした箇所は、エペソ書では中盤に位置し、「歩む」ということがテーマです。ここには、神の愛によって召されて救われた私たちが、どのような歩み・生活を送る事が期待されているかが述べられています。

まず心に留めたいことは、私たちは「キリストのからだである教会を建て上げるために召された」(12)ということです。教会を建て上げることで私たちは神の栄光を現わします。この場合の教会は、会堂のことではなく、キリストにあって召された兄弟姉妹の集合体・共同体ということであり、一人ひとりの成長が教会の建て上げに繋がります。
次に心に留めたいのは、「召されたお互いに対して敬意を払い、支え合う」ということです。教会には様々な人が存在します。一人ひとり、性格、特徴、気質、能力、賜物など、いろいろなものが違います。多様性に富んでいるのが教会です。それ故に、意見

ややり方などが異なるものですし、そこに共同体の意味があります。しかし、時にそれは対立や分裂を生むことがあります。ですから異なる者たちが集まって一つの共同体を形成するためには、お互いを尊重することが必要です。それで「謙遜」「柔和」「寛容」「愛による忍耐」「平和」(二、三)をお互いが身に着けることが大切だと説かれています。
ただ、多様性という時に一つ忘れてはいけないことがあります。
多様性に満ちた教会が一体であるためには、「ただ一人の神・三位一体の主」を礼拝することが重要です。その枠組みを示すのが「聖書」と「信条」です。「聖書」が示す正統的な信仰「を示すのが使徒信条に代表される「信条」です。異端カルトはこの枠から外れています。私たちも自分たちの信仰を見失わず、主にあつてお互いを尊重しながら教会を建て上げましょう(泰)

10月5日 聖日礼拝

小礼拝	9時	荻野牧師
聖日礼拝	11時	荻野と兄 高橋美姉
前奏		
招詞	ハバクク書2章20節	
会衆賛美	聖歌25	御神の愛をば
会衆賛美	イエスの血潮で	
主の祈り		
交読	詩篇133篇1～3節	(旧約聖書1076頁)
礼拝祈祷		
使徒信条		
聖書朗読	エペソ人への手紙	4章1～16節
説教	召しにふさわしい歩み	(新約聖書 388頁)
聖餐	(小礼拝は礼拝後)	荻野泰弘牧師
会衆賛美	聖歌160	
献金	キリスト・イエスを基として	
頌栄	聖歌376	父御子御霊の
祝祷		
報告		
感謝祈祷	奏楽	

【招詞(主の招きのことば)】

ハバクク書2章20節 「主は、その聖なる宮におられる。全地よ、主の御前に静まれ。」アーメン

【本日の予定】

■会堂清掃 礼拝後

■小学科礼拝 11時～ 3階

■ホザナ礼拝 11時～ 6階
お話 林伝道師

■バイブルカフェ お休み

■合同例会

礼拝後 3階 昼食
13時半～ グループ別例会

・本日夕方は、荻野牧師は東京育成園の夕礼拝に出掛けます。

・本日の礼拝飾花 荻野久仁子伝道師の召天(2019年10月5日)を記念して荻野家より献げられました。

【本日の礼拝奉仕者】

■小礼拝・オンライン配信

礼拝祈祷 荻野泰弘
報告 荻野泰弘
配信 配信チーム
聖餐 荻野牧師
林伝道師

■聖日礼拝

礼拝祈祷
聖書朗読
献金1階
2階
献金祈祷
報告 司会者
荻野泰弘
会場 林良男
受付 荻野牧師
パワポ パワポチーム
聖餐

【今週の予定】

7(火) 9時半～12時
会堂貸出 ゴスペル
9(木) 10時半～ 祈祷会
10(金) 10時～ 宣教部会
11(土) 有志ボランティア
無料食品配布

【本日】合同例会

■プログラム

- ・礼拝後 昼食 3階
- ・13時半より グループ別例会
- ・15時頃(各グループ終了後) 3階でティータイム

■グループ別例会

《1階》グループ1「賛美と証し」
礼拝で歌っているワッシュアップソングやゴスペルソング、懐かしの「友よ歌おう」から選曲しています。

《4階》グループ2

「弱さと闇を照らす光」

中村稜師のデイボーションガイドから数日分を共に読み、それを手掛かりに語り合います。

《6階》グループ3

「読書と人生(信仰)」

自分の人生に影響を与えた本について参加者に紹介してもらいます。信仰書以外の一般書もOKです。

【結café】3つのグループの交わりが和やかに進むための飲み物サービス

■会費 400円

昼食代、ドリンク、café等

【第67回 霊修会】

10/12(日) タ～13(月祝)

「聖霊にゆだねて～神から来る～」

講師 岩上祝仁師

インマヌエル綜合伝道団 代表

会場 湘南国際村センター(葉山町)

《12日の動き》

*小礼拝後 先発隊出発 林伝道師
と数名の兄姉が準備のために先発。

*聖日礼拝後 参加者出発

・電車等で会場に向かう方は各自でお出かけください。15時受付です。

・送迎車を予約利用の方

聖日礼拝後に3階でお弁当を食べながら出掛けます。13時過ぎに分乗して出発の予定です。

交通費 3,000円(弁当付)

・会堂戸締り 荻野牧師 13時半
時間までに退出願います。

《プログラムの一部変更について》

初日の夕食時間と聖会1の時間が30分早くなります。

夕食17時半より 聖会119時より

【10月の外部集会のご案内】

■13日(月祝)、14日(火)

「JHA関東聖化大会」

40周年記念大会

会場 インマヌエル中目黒教会

今年は「聖化交友会 JHA」の発足40周年です。発足には岸田馨牧師も尽力し、これまでもシオンとして大切な関わりを築いてきました。

聖化の恵みを求めて出席ください。詳細はチラシをご覧ください(礼拝堂ロビーに配架)。

■18日(土) 13時半～15時

「信条とは何か」

～ニカイア信条の成立過程について～

会場 上馬キリスト教会

講師 関川泰寛師

参加費 千円 大森めぐみ教会主任牧師

現代は異端やカルトが横行しています。この戦いは初代教会の時代からある問題で、その戦いの過程で生まれたのが「信条」です。信条を学ぶことは、正統的な信仰を知ることでもあります。詳しくは荻野牧師まで。